

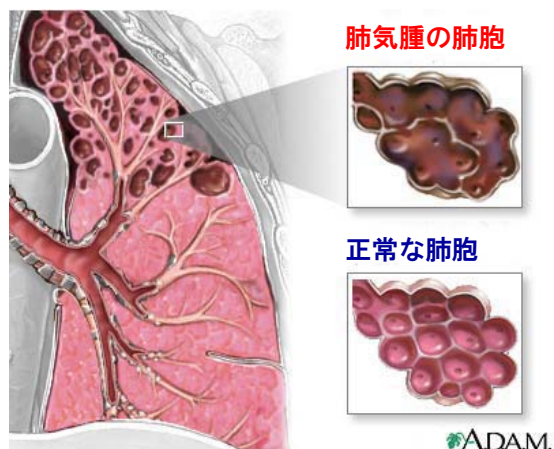
# 「ヘリカルCT肺気腫ドック」を受けてみませんか

肺の一番奥の肺胞と呼ばれる小さな袋で呼吸の働きをしています。肺胞の壁が喫煙や大気汚染などにより破壊されると、のびきった風船のような部分が肺の中にたくさんでき、これが肺気腫です。息切れやせきの症状が出現し、重症になると酸素吸入が必要になります。

年齢とともに増加し、日本人の40歳以上で530万人、70歳以上で212万人存在すると推定されています。近年、増加傾向にあり2000年より死因の10位を占めるようになってしまいました。喫煙の影響が大きく、肺の生活習慣病ともいわれています。

## CT肺気腫ドックをお勧めする条件

- 1) 年齢が50歳以上
- 2) 喫煙をする人、過去に喫煙をしていた人
- 3) 息切れ、せき、たんが続いている人



ヘリカルCT肺気腫ドックでは**初期の肺気腫の変化**を検出できます。肺機能検査では肺活量のほか、肺の弾力性を判断します。動脈血ガス分析では動脈の酸素と炭酸ガスの値を調べて肺の働きを総合的に診断します。

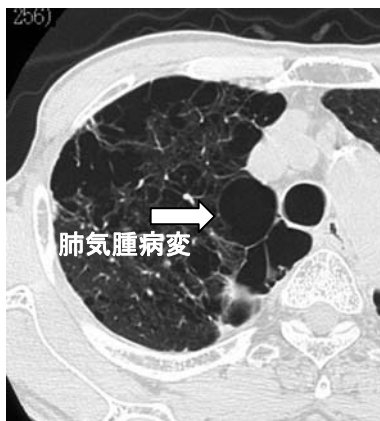
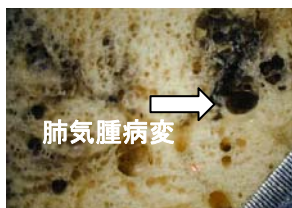
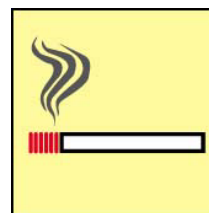
当所での「ヘリカルCT肺気腫ドック」では以下の検査をおこないます。

ヘリカルCTスキャンと直接胸部レントゲン写真（正面）

オプション検査

肺機能検査

動脈血ガス分析検査



低線量「ヘリカルCTスキャン」により、被曝量は通常の5分の1程度になります。

## 「複十字健診センター」

〒989-3203

仙台市青葉区中山吉成2-3-1

TEL 022-719-5161 FAX 022-719-5166

## 「興生館」

〒980-0004

仙台市青葉区宮町1-1-5

TEL 022-221-4461 FAX 022-221-4465

**✦ JATA** (財)結核予防会宮城県支部



予約制でおこなっていますので、事前にご連絡お願いいたします。  
診断は日本呼吸器学会専門医・指導医がおこないます。